

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010100	事業の種類	2	
年度	28	事務事業名	市民体育館管理事業	予算事業名	市民体育館管理運営事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名	市民体育館改修					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、体育館利用者				
	誰(何)を対象として	市民、体育館利用者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が市民体育館を利用し、安全に様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	利用件数	件	6648	7054	7171	
	利用者数	人	96193	102915	97232	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.340	0.340	100	0.332	98	0.340	102	
	臨時職員	0.142	0.140	99	0.139	99	0.160	115	
支出内訳	人件費	3,337,913	3,241,794	97	3,212,419	99	3,460,033	108	
	事業費	14,911,025	11,445,384	77	10,715,918	94	149,333,000	1,394	
	合計	18,248,938	14,687,178	80	13,928,337	95	152,793,033	1,097	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,982,120	2,121,400	107	2,327,800	110	1,840,000	79	
	一般財源	16,266,818	12,565,778	77	11,600,537	92	150,953,033	1,301	
合計	18,248,938	14,687,178	80	13,928,337	95	152,793,033	1,097		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		市民体育館利用人員							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	80000	90000	112.5	105000	116.7	3700	3.5	
	実績	96193	102915	107.0	97232	94.5			
指標名2		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		卓球場利用人員(大人)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	3446	3703	107.5	3534	95.4			

【効率性】

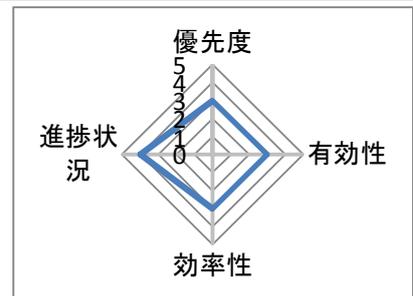
指標名1		市民体育館管理事業費							
指標説明(式)		市民体育館管理事業費総額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17262000	12610000	73.1	12304000	97.6	128680000	1045.8	
	実績	14911025	11445384	76.8	10715918	93.6			
指標名2		市民体育館管理事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4113000	1050000	25.5	1005000	95.7	129050000	12840.8	
	実績	4071440	1054439	25.9	396360	37.6			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	総利用者数、卓球場利用者人数において、前年度の実績を下回った。	3
	組織運営・適正管理	施設の延命化に向け、今後も効率的に維持修繕に取り組む必要がある。	
効率性	コストの節減	節電に心がけ、光熱水費抑制に努めた。	3
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託を行い、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所として機能するため、設備の充実を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の改修工事を行い、さらなる安心、安全で利用者にやさしい施設管理に取り組む必要がある。

配点	25
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010200		事業の種類	2	
年度	28	事務事業名	市民プール管理運営事業		予算事業名	市民プール管理運営事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民プール改修事業		市民プール改修工事			
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、プール利用者					
	誰(何)を対象として	市民、プール利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が安全に利用できる施設として、管理運営を行う。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受付対応、水質の維持管理を行うことにより、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	利用者数(総数)	人	6845	4437	3739		
	利用者数(中央プール)	人	3337	0	0		
	利用者数(西部プール)	人	3508	4437	3739		

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.148	0.160	108	0.160	100	0.080	50	
	臨時職員	0.012		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,534,397	1,542,374	101	1,554,026	101	962,993	62	
	事業費	4,684,420	5,974,000	128	5,974,000	100	6,274,000	105	
	合計	6,218,817	7,516,374	121	7,528,026	100	7,236,993	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	240,870	0	0	0	-	0	-	
	一般財源	5,977,947	7,516,374	126	7,528,026	100	7,236,993	96	
合計	6,218,817	7,516,374	121	7,528,026	100	7,236,993	96		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民プール利用状況							
指標説明(式)		市民プール利用人員(総数)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8200	4000	48.8	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	6845	4437	64.8	3739	84.3			
指標名2		市民プール利用状況							
指標説明(式)		小学校のプール利用(学校教育課程として)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4000	2000	50.0	2000	100.0	1500	75.0	
	実績	3936	1485	37.7	1270	85.5			

【効率性】

指標名1		市民プール管理運営事業費							
指標説明(式)		市民プール管理運営事業費総額(賃金含む) ただし28年度からは指定管理							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10245000	6274000	61.2	6274000	100.0	6274000	100.0	
	実績	7835040	5974000	76.2	5974000	100.0			
指標名2		市民プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	300000	100.0	300000	100.0	300000	100.0	
	実績	104760	0	0.0	0	-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校の水泳指導、放課後児童保育として適正に使用できた。学校教育課程としての利用者は、中央プールの廃止により減少した。	3
	組織運営・適正管理	専門事業者に管理委託することにより、これまで以上に、適正な管理運営を図ることができた。	
効率性	コストの節減	水質管理に努め、使用水量、薬剤の節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	指定管理することにより、適正な人員配置を行い、安全確保に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	少子化により、小学校の児童数が減少している昨今、大きな事故もなく、適正な管理運営ができています。	3

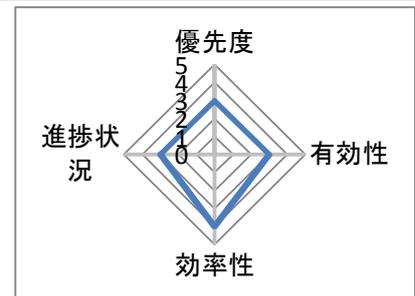
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性		中央プールは施設老朽化、人員減少により廃止とした。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性		(株)アクアティックに管理運営業務委託し、連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。



配点	25
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号	010501010300		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業	優先度	3	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名	スポーツセンター土壌改良工事		東部公園グラウンド改修事業			
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市民グラウンド利用者				
	誰(何)を対象として	市民、市民グラウンド利用者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が安全に利用できる施設として、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供する。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備、充実に努める。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	利用者数	人	18432	28346	30278	2800
	利用件数	件	212	260	351	260

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.380	0.380	100	0.364	96	0.360	99
	臨時職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100
支出内訳	人件費	3,497,173	3,389,934	97	3,299,726	97	3,396,513	103
	事業費	3,756,201	3,922,865	104	3,516,634	90	3,818,000	109
	合計	7,253,374	7,312,799	101	6,816,360	93	7,214,513	106
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	350,900	363,870	104	360,800	99	312,000	86
	一般財源	6,902,474	6,948,929	101	6,455,560	93	6,902,513	107
合計	7,253,374	7,312,799	101	6,816,360	93	7,214,513	106	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	市民グラウンド利用状況								
指標説明(式)	市民グラウンド利用人員								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	18432	28346	153.8	30278	106.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市民グラウンド管理運営事業費							
指標説明(式)		市民グラウンド管理運営事業費総額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3766000	4110000	109.1	3782000	92.0	3818000	101.0	
	実績	3756201	3922865	104.4	3516634	89.6			
指標名2		市民グラウンド管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	110000	110000	100.0	110000	100.0	110000	100.0	
	実績	381240	262440	68.8	30240	11.5			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	天候により利用件数等が大きく左右されるが、前年度と比較し、利用者数、利用件数ともに増となった。相生高校の耐震代替え運動場としての活用があったため。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	施設の維持修繕箇所が少なかったため、管理運営事業費(修繕関係)が減となった。	4
	執行体制の効率性	利用がない日および利用時間帯等、利用形態に合わせた委託管理の調整を行い、施設管理の効率性を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供できている。	3

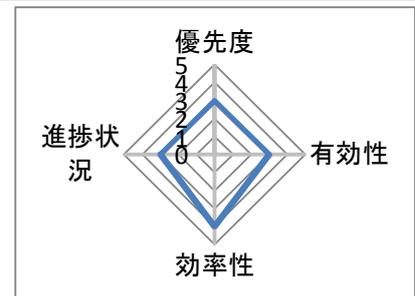
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の充実や今後の適正管理体制について検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	使用実態に即した委託管理を行い、事業費節減に努める。



配点	25
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号	010501010400		事業の種類	2			
年度	28	事務事業名	温水プール管理運営事業	予算事業名	温水プール管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘	
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	温水プール改修事業		温水プール改修工事				
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、温水プール利用者					
	誰(何)を対象として	市民、温水プール利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	指定管理者制度により包括的に委託し、温水プール維持管理運営業務を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	利用者数	人	104217	78430	125766	127000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.302	0.300	99	0.300	100	0.320	107
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	2,698,429	2,589,854	96	2,608,926	101	2,858,993	110
	事業費	34,375,680	100,216,054	292	25,862,040	26	22,600,000	87
	合計	37,074,109	102,805,908	277	28,470,966	28	25,458,993	89
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	2,925,930	601,320	21	601,320	100	601,320	100
	一般財源	34,148,179	102,204,588	299	27,869,646	27	24,857,673	89
合計	37,074,109	102,805,908	277	28,470,966	28	25,458,993	89	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	温水プール利用状況								
指標説明(式)	温水プール利用人員								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	127000	127.0	
	実績	104217	78430	75.3	125766	160.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

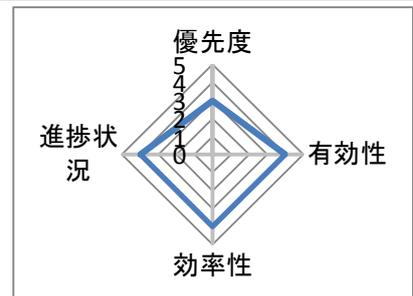
指標名1		温水プール管理運営事業費							
指標説明(式)		温水プール管理運営事業費総額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	38290000	99939000	261.0	26427000	26.4	22600000	85.5	
	実績	34375680	100216054	291.5	25862040	25.8			
指標名2		温水プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3600000	71733000	1992.6	3600000	5.0	3600000	100.0	
	実績	295920	69634188	23531.4	3200040	4.6			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	長期間の閉館を伴う修繕等は発生せず、指定管理者の運営努力により時間、施設を有効に活用し、利用者の確保ができた。	4
	組織運営・適正管理	来館者にアンケートを実施し、要望に対しては可能な限り対応を行った。	
効率性	コストの節減	指定管理者による節電、節水等のコスト削減意識により、節減に努められている。	4
	手段の最適性	新規体操教室、体験教室、プールアスレチック、入会金無料期間を設ける等により、会員および利用者の維持に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	経年のため、プール施設改修計画による適正管理が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	計画的な施設維持修繕に努め、適正な管理を推進する。

配点	25
総合評価	18

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	海洋訓練教室推進事業		予算事業名	海洋訓練教室推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	松本 秀文		担当者名 藤岡 周平
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然に恵まれた海を利用して、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及に努める。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもへの海洋スポーツの普及・促進するため、海洋スポーツクラブに事業委託を行い、又活動拠点の海の観光交流ハウスの維持管理を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	参加者	人	725	980	618	650	
	会員数(子ども)	人	15	20	15	15	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.004	13	0.004	100	0.004	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	606,469	375,182	62	378,566	101	362,593	96	
	事業費	690,937	685,177	99	687,204	100	728,000	106	
	合計	1,297,406	1,060,359	82	1,065,770	101	1,090,593	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,297,406	1,060,359	82	1,065,770	101	1,090,593	102	
合計	1,297,406	1,060,359	82	1,065,770	101	1,090,593	102		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	900	900	100.0	900	100.0	650	72.2	
	実績	725	980	135.2	618	63.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

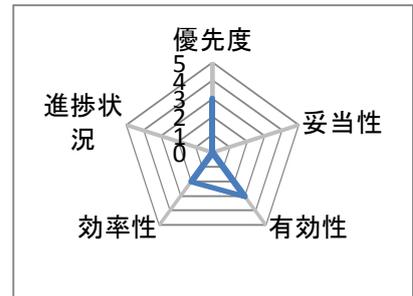
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾特有の穏やかな波を活かし、多くの参加者のもと海洋訓練を行えた。	3
効率性	手段の最適性	B&Gあいおい海洋クラブ(委託先)の、市から自立できる体制整備に取り組む必要がある。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	天候で実施できない日があった。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	主に会員15名のみが、活動している状態である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	事業の中に、一般公募で参加できる事業を組み入れていくことを、団体にはたらきかける。

配点	32.5
総合評価	11

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020200		事業の種類	3		
年度	28	事務事業名	社会体育計画管理事業		予算事業名	社会体育費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘	
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	庁内組織、千種川水系地区社会体育担当者会議およびスポーツ推進審議会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	千種川水系地区社会体育担当者会議	回	1	1	1	1	
	スポーツ推進審議会	回	2	2	2	2	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.140	0.120	86	0.126	105	0.220	175	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,443,253	1,243,094	86	1,297,836	104	2,068,993	159	
	事業費	169,448	172,744	102	179,768	104	197,000	110	
	合計	1,612,701	1,415,838	88	1,477,604	104	2,265,993	153	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,612,701	1,415,838	88	1,477,604	104	2,265,993	153	
合計	1,612,701	1,415,838	88	1,477,604	104	2,265,993	153		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進審議会および千種川水系地区社会体育担当者会議							
指標説明(式)		審議会および担当者会議開催数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

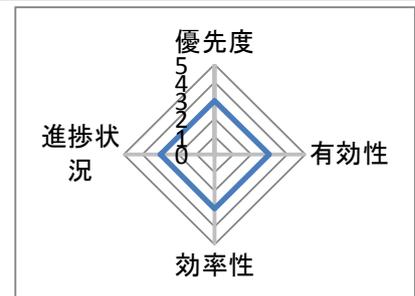
指標名1		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	3	100.0	3	100.0	4	133.3	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		一般事務経費							
指標説明(式)		社会体育費事務経費+スポーツ推進審議会報酬							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	201000	201000	100.0	245000	121.9	198000	80.8	
	実績	169448		0.0	179768	-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ推進審議会は年2回開催することができた。	3
	組織運営・適正管理	審議会委員の若返りには至っていない。	
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬のほか、必要事業費のみの予算措置である。	3
	執行体制の効率性	社会体育振興事業に寄与できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツ推進審議会での答申を得ながら、計画的で効率的なスポーツの推進が図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	全体的に委員の若返りと女性委員割合を増やしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号	010501020300		事業の種類	4			
年度	28	事務事業名	スポーツ活動推進事業	予算事業名	社会体育振興事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司	
取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21の推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	市民体育大会事業等	種目数	21	19	18	19
	優秀選手激励制度	件	38	42	38	40

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.664	0.656	99	0.640	98	0.660	103
	臨時職員	0.132	0.144	109	0.144	100	0.142	99
支出内訳	人件費	5,823,965	5,616,182	96	5,546,234	99	5,938,191	107
	事業費	2,798,017	2,708,191	97	2,584,476	95	2,667,000	103
	合計	8,621,982	8,324,373	97	8,130,710	98	8,605,191	106
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	232,000	233,000	100	240,000	103	240,000	100
	一般財源	8,389,982	8,091,373	96	7,890,710	98	8,365,191	106
合計	8,621,982	8,324,373	97	8,130,710	98	8,605,191	106	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	市民体育大会等実施数								
指標説明(式)	市民体育大会+その他振興事業 ※市民体育大会:15種目 その他:6事業								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	25	25	100.0	22	88.0	23	104.5	
	実績	21	23	109.5	21	91.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

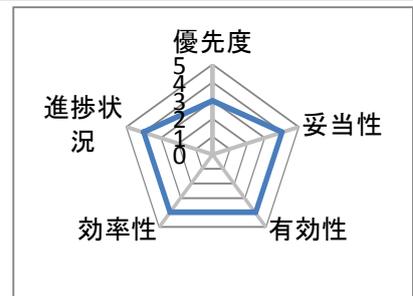
指標名1		市民体育大会等(1種目あたりのコスト)							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷大会等種目数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	112560	106160	94.3	119772	112.8	115956	96.8	
	実績	133238	117747	88.4	123070	104.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	4
	市民サービス	スポーツ安全保険については、体育協会等の種目団体に広く活用された。	
効率性	コストの節減	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動が選択できるよう、幅広く展開できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業の自主的な運営が進むよう、各団体との連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各大会種目の適正な参加費を設定し、一人あたりに係る必要事業費を削減していく。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020400	事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業	予算事業名	ジュニアスポーツ振興事業 優先度	4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(ジュニア層)					
	誰(何)を対象として	市民(ジュニア層)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	相生湾チビ子駅伝	チーム	48	48	61	53	
	少年親善剣道大会	チーム	99	92	82	92	
	ジュニア陸上競技教室	人	150	121	122	120	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.638	0.638	100	0.624	98	0.648	104	
	臨時職員	0.140	0.140	100	0.140	100	0.160	114	
支出内訳	人件費	5,641,957	5,471,430	97	5,415,246	99	5,893,233	109	
	事業費	1,420,000	1,420,000	100	1,420,000	100	1,370,000	96	
	合計	7,061,957	6,891,430	98	6,835,246	99	7,263,233	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	279,000	268,000	96	276,000	103	276,000	100	
	一般財源	6,782,957	6,623,430	98	6,559,246	99	6,987,233	107	
合計	7,061,957	6,891,430	98	6,835,246	99	7,263,233	106		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ジュニアスポーツ普及振興事業							
指標説明(式)		事業(大会・教室等数)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	12	12	100.0	12	100.0	12	100.0	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

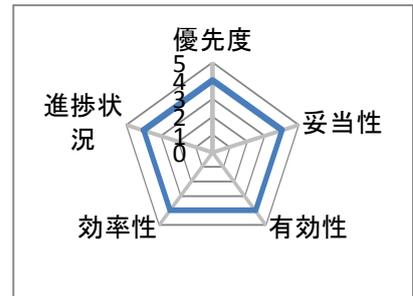
指標名1		ジュニアスポーツ(1大会・教室あたりのコスト)							
指標説明(式)		ジュニアスポーツ普及振興事業÷事業数(大会・教室等)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	118333	118333	100.0	122500	103.5	114166	93.2	
	実績	118333	118333	100.0	118333	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	他市町との交流や大会参加により、競技力の向上が図られている。	4
	市民サービス	子ども達に取り組みやすい教室や発達の場を提供できている。	
効率性	コストの節減	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減を図っている。	4
	手段の最適性	子どもの基礎体力向上に力点をおいて事業の展開を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各種目別大会において参加者が増加しており、子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校と連携を図り、子どもたちのスポーツをするきっかけを提供していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業規模や参加数にみあった事業費の増減を行う。

配点	32.5
総合評価	26

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020500		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	予算事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	あそぼうる	回	5	5	5	5	
	ターゲットバードゴルフ	回	7	8	8	8	
	グラウンドゴルフ	回	5	6	5	5	
	スポーツフェスティバル参加者数	人	1298	1532	1208	1300	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.804	0.832	103	0.820	99	0.792	97	
	臨時職員	0.260	0.260	100	0.260	100	0.260	100	
支出内訳	人件費	7,219,725	7,225,218	100	7,204,946	100	7,307,733	101	
	事業費	4,385,000	4,365,000	100	4,025,000	92	4,025,000	100	
	合計	11,604,725	11,590,218	100	11,229,946	97	11,332,733	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	310,500	452,600	146	465,000	103	465,000	100	
	一般財源	11,294,225	11,137,618	99	10,764,946	97	10,867,733	101	
	合計	11,604,725	11,590,218	100	11,229,946	97	11,332,733	101	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催事業数							
指標説明(式)		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	19	19	100.0	20	105.3	20	100.0	
	実績	19	21	110.5	20	95.2			
指標名2		スポーツフェスティバルAIOI参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	1500	100.0	1450	96.7	1450	100.0	
	実績	1298	1532	118.0	1208	78.9			

【効率性】

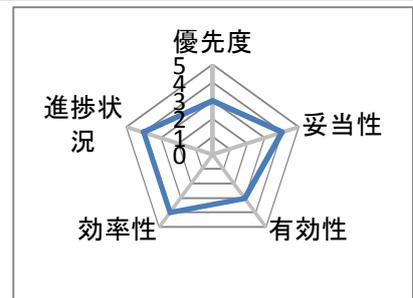
指標名1		スポーツフェスティバルAIOI(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツフェスティバルAIOIに係る事業費÷参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2066	2066	100.0	2068	100.1	1931	93.4	
	実績	2388	2023	84.7	2317	114.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツフェスティバルについては、幼児から高齢者まで、より多くの市民が参加できるよう常にプログラム内容の見直しを行う必要がある。	3
	市民サービス	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、行政としてスポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	
効率性	コストの節減	市民ニーズを把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	4
	負担割合の適正化	スポーツフェスティバルは幼児から高齢者までの誰もが気軽に参加できるよう、参加料は無料としている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしが図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	多世代で取り組める「アジャタ」の市民大会を開催するとともに、地域のイベントなどに貸し出しし普及を図る。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020600		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	スポーツ教室事業		予算事業名	スポーツ教室事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと		担当者名 平野慎司
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	スポーツ教室参加者数	人	252	268	265		

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.080	67	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	1,871,493	1,847,654	99	1,878,306	102	1,627,553	87	
	事業費	866,460	869,340	100	878,160	101	877,000	100	
	合計	2,737,953	2,716,994	99	2,756,466	101	2,504,553	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	866,460	869,340	100	878,160	101	877,000	100	
	一般財源	1,871,493	1,847,654	99	1,878,306	102	1,627,553	87	
合計	2,737,953	2,716,994	99	2,756,466	101	2,504,553	91		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ教室参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	280	280	100.0	268	95.7	268	100.0	
	実績	252	268	106.3	265	98.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

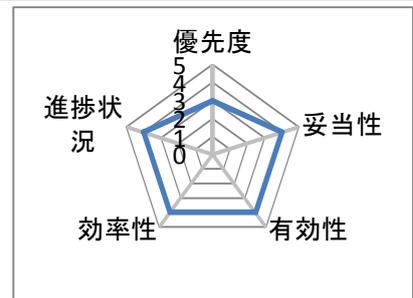
指標名1		スポーツ教室(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ教室実施事業費÷参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3153	3157	100.1	3283	104.0	3272	99.7	
	実績	3438	3243	94.3	3313	102.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者数は例年並みである。	4
	市民サービス	健康体操、卓球、バレーボール、バドミントン、幼児体操の5教室を開催することができた。出席率も高い。	
効率性	コストの節減	講師は体育協会加盟団体を主としたスポーツ団体に依頼しており、事業費は謝礼が主のため、コスト削減は難しい。	4
	手段の最適性	各スポーツ教室とも開催回数は3期であり、空調設備のない施設としては、教室の開催時期、開催回数ともに最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教室開催時期だけでなく、それ以外でも自主的にスポーツができるよう普及促進を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	教室開催のPRを積極的に行う。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020800		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度	
		まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	
		施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当者名	
		取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	
						無	
						主要事業の指定	
						無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各種目競技の普及推進、奨励を促す。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	スポーツ顕彰	件	44	38	45	58	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.260	0.260	100	0.260	100	0.260	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,373,013	2,290,574	97	2,307,526	101	2,384,993	103	
	事業費	131,430	104,600	80	91,200	87	223,000	245	
	合計	2,504,443	2,395,174	96	2,398,726	100	2,607,993	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,504,443	2,395,174	96	2,398,726	100	2,607,993	109	
合計	2,504,443	2,395,174	96	2,398,726	100	2,607,993	109		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ顕彰受賞者数							
指標説明(式)		県大会以上に進み、スポーツ顕彰を受賞した人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	70	60	85.7	60	100.0	58	96.7	
	実績	44	38	86.4	45	118.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

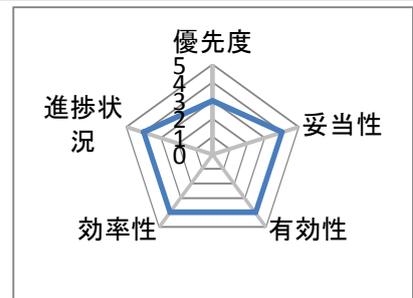
指標名1		スポーツ顕彰受賞者(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ・文化芸術顕彰事業÷受賞者							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4071	6750	165.8	4083	60.5	3448	84.4	
	実績	2987	2752	92.1	2026	73.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	4
	市民サービス	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえることができた。	
効率性	コストの節減	制度の趣旨を損なわないようコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	功績に相応した顕彰を贈呈できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成25年度の制度改正により、受賞資格が明確にされている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	広報紙やホームページを活用し、効果的な制度の周知、PRに努める。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020900		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	多世代型スポーツ導入事業		予算事業名		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長			
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	多世代が楽しめるスポーツを導入し、地域コミュニティの活性化を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小学生から高齢者までの多世代が一堂に会し、気軽に楽しめる新規スポーツとして、スポーツ玉入れ「アジャタ」の導入を行い、スポーツを通して市民のふれ合いや地域交流の促進等、地域コミュニティの活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	大会参加者数	人	450	628			
	用具貸出件数	件	17	16			

## 3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	-	0.026	-	0.027	-	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	345,254	-	0	-	0	-	
	事業費			-		-		-	
	合計	358,533	345,254	-	0	-	0	-	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	345,254	-	0	-	0	-	
合計	358,533	345,254	-	0	-	0	-		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		大会参加者数							
指標説明(式)		参加者(2大会)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	700	-		-	
	実績	450	628	-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

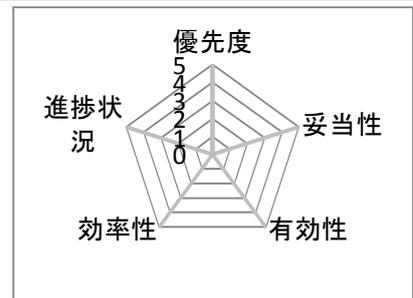
指標名1		多世代型スポーツ導入(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		多世代型スポーツ導入事業費÷参加者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	大会参加者数が当初の目標値より下回ったが、市内7スポーツクラブすべての参加があった。	
	市民サービス	市民の多くに「アジャタ」という名のスポーツを浸透させることができた。	
効率性	負担割合の適正化	大会参加費の有無も含め、金額の妥当性について検討する必要がある。	
	手段の最適性	他事業の開催もあり、土日の市民体育館の使用状況は飽和状態であり、大会の実施については1~2回が最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ふるさと応援寄附で行う多世代型スポーツ導入事業は25年度完了であるが、今後既設事業に絡めて大会の実施を継続する。スポーツフェスティバル等	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501030100		事業の種類	3		
年度	28	事務事業名	スポーツ推進委員事業		予算事業名	相生市スポーツ推進委員事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名	平野慎司
取組み事項		スポーツリーダーを育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域でのスポーツリーダーとして活動することで、スポーツ活動が活性化する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ推進委員の資質向上のため、各大会への参加、近隣の市町や市内での交流会、研修、講習参加や開催に取り組む。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	スポーツ推進委員会	回	9	9	9	9	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.328	0.332	101	0.332	100	0.320	96	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,948,477	2,879,658	98	2,902,186	101	2,914,373	100	
	事業費	3,208,580	3,246,780	101	3,440,500	106	3,314,000	96	
	合計	6,157,057	6,126,438	100	6,342,686	104	6,228,373	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,157,057	6,126,438	100	6,342,686	104	6,228,373	98	
合計	6,157,057	6,126,438	100	6,342,686	104	6,228,373	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進委員数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	28	29	103.6	29	100.0	27	93.1	
	実績	29	27	93.1	25	92.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

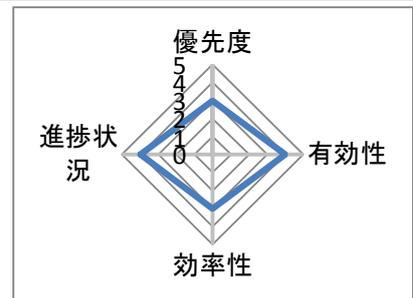
指標名1		スポーツ推進委員報酬							
指標説明(式)		スポーツ推進委員報酬総額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3311000	3311000	100.0	3170000	95.7	3170000	100.0	
	実績	3311000	3118500	94.2	3154000	101.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の指導や支援が円滑に行われている。	4
	組織運営・適正管理	組織運営は適切かつ円滑に行われている。資質向上のための研修にも積極的に参加している。	
効率性	コストの節減	各種事業や新規スポーツ事業等の応援をスポーツ推進委員に依存しているため、報酬の削減は困難である。	3
	執行体制の効率性	女性委員の増員、委員の若返りを図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域でのスポーツリーダーとして自覚し、積極的に活動できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域スポーツのリーダー確保や育成が重要であることから、多様な種目や地域から均等に委員を選出する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業実施に必要な人員を把握しつつ、将来も考慮したうえで必要最小限の配置としコスト削減を図る。

配点	25
総合評価	17